



広報

平成23年1月1日発行

たちばな

第18号

(財)日本医療機能評価機構認定病院

橋 病院

整形外科専門病院

TACHIBANA HOSPITAL

<http://www.tachibana-hospital.jp>

## 年頭所感

理事長 矢野良英

明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は民主党政権が誕生して3ヶ月を経過して、事業仕分に代表されるように政治主導の実現に向けて本格的に始動する希望の年でしたが、普天間基地移設の問題をはじめ、尖閣諸島、竹島、北方四島の領土問題、北朝鮮の核の脅威や中国の我が国へのレアアースの輸出制限等による経済的ダメージへの脅威等、我が国の安全保障に関連して、他国との外交の重要性や自国の存在意義を強く意識させられた年でした。

医療改革も遅々と進まない中、2013年には後期高齢者医療制度の廃止が打ち出され国民健康保険に組み込まれることとなりそうですが、先行きは全く不透明です。

当院におきましては、昨年度4月より一般病床のうち急性期病床(30床)を医療費の定額支払い制度すなわちDPC (Diagnosis Procedure Combination)に移行しました。

6月には日本医療機能評価機構の認定更新の審査を受けて、審査体制区分1ver.6.0の認定証を受けることが出来ました。

日常診療においては、5月から入院患者さんのリハビリテーションの充実の為に、年間を通して日曜・祝・祭日も休み無しの体制で頑張っています。

介護保険適応の通所リハビリテーションは、好評により利用希望者が増えて、10月より利用者の枠を20人から30人に増やすことになりました。まさしく理学療法士さん達の頑張りの賜です。

手術部門におきましては、柏木院長をはじめとして花堂先生・小島先生の御苦勞のもと、昨年の人工関節手術件数が220例、大腿骨頸部骨折の手術件数73例を含めた骨折等の外傷の手術件数が151例、関節鏡39例、脊椎の手術43例で、総手術件数が453例となっています。又、意見箱には、術後の患者様方より多くの感謝の言葉を頂き職員一同仕事の励みとなっています。

さて今年目標は、まずは医療機能評価機構の認定の内容を病院職員全員に限らず周知実践することではないかと考えています。

又、働きやすい職場環境作りをして、全職員の力を結集してゆとりある医療を行い、ひいては患者様方に満足度の高い安全な医療を提供できるように引き続き努力していきたいと考えている次第です。

本年が皆様一人ひとりにとって、素晴らしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も宜しく願いいたします。

# ドクタートーク

宮崎大学 整形外科  
渡邊 信二



はじめまして渡邊信二と申します。現在の在籍は宮崎大学の整形外科です。月に2回ほど橘病院でお世話になってます。主に土曜日に外来をしています。

出身は口蹄疫で大きな被害にあった児湯郡の川南町です。高校は高鍋高校でバスケットボール部所属してました。高校卒業後は一年浪人し宮崎大学の教育学部に入り卒業後2年間中学理科の教員をしてました。思うところあり、退職して浪人へ、その後宮崎医科大学(現宮崎大学)に入学しました。医学部の卒業は平成4年で、医師になってから17年が経過しました。専門は整形外科で主に下肢関節や小児整形を診療しています。患者様の話を聞くことを心がけてます。何でも聞いていただいて結構ですので宜しくお願いします。

趣味は体を動かすことで大学時代は主にサーフィンをしてました。宮崎は日本の中では大きな波が立つサーフポイントがたくさんあり、県外からも波を求めて多くのサーファーが訪れるようなところで環境的には恵まれていたと思います。医者になってから時間がなく海から遠ざかっていますが今でも海岸線を走るとサーフィンしたくてもうずうずします。

体を動かさないとぶくぶくと太ってきましてピークでは88キロを記録しました。血圧も高くなりメタボまっしぐら、医者の不養生状態でした。これではいけないと思い、もっと気軽にできる運動はないかと考えていたところ、たまたま自転車の安いのが眼に止まり衝動買いし自転車通勤を始めました。これはかなり効果あり体重減ってきたのですが、飽きやすい性格が災いし2年ほどでなんだかんた理由をつけてやらなくなりました。自転車3台も買ったのに…。ってことでまたまたメタボ復帰で体重83キロ、う～む、このままでは早死にするなということで、今回青島太平洋マラソンに挑戦しました。9月にエントリーを行い、準備をはじめました。少なくとも70キロをきらないと完走できないでしょうから長距離の練習とダイエットを同時進行でした。実はこの原稿を書いている時はまだマラソン前です。従って結果については書けません。また別の機会があれば報告したいと思います。

外来でお目にかかることがあるかもしれません。そのときには気軽に声をかけてください。

青島太平洋マラソンの結果: 見事5時間12分44秒のタイムで完走!! おめでとうございます!!

## 看護部 外来 紹介

皆さま、こんにちは。

当院外来は、理事長をはじめ人工関節の柏木院長、脊椎の花堂先生、一般整形の小島先生、非常勤医として宮崎大学付属病院より渡邊先生、濱中先生、田島先生が診療を行っています。整形外科の総合病院?といった感じでしょうか。

診察・処置・治療・リハビリだけでなく、予定手術の術前検査や内科診察、自己血採血(脱血)なども外来にて行っています。

外来には、毎日約180~240名の患者さまが来院され、また整形外科疾患における救急指定病院でもあることから救急車で患者さまが搬送されることも珍しくありません。

多くの患者さまが来院される中、安全に安心して治療を受けていただけるよう誤認・誤薬防止のため氏名・生年月日・注射内容等は必ず看護師2人で確認を行い、また処置室へ案内する際には患者さまへの確認もさせていただいております。また年1回の満足度調査、年2回の待ち時間調査を行い、業務改善・待ち時間短縮について努力をしているところです。

最後になりましたが来院される患者さまの抱える問題が一つでも解決また軽減のため、医師とともに何かお手伝い出来るように笑顔で頑張っていますのでこれからも宜しくお願いします。



# 避難訓練

平成22年10月23日、日勤帯の火災を想定した防災訓練を実施しました。

手術棟1階ボイラー室からの出火を想定し、初期消火、連絡通報、避難誘導、患者搬送などの訓練を中心に行われました。

今回は多くのスタッフが参加し、いざという時に備えて真剣に取り組みました。

当院では定期的に勉強会を開き、災害時のマニュアルの周知に努めています。実際に火事が起こった場合、各スタッフが与えられた役割を果たせるよう緊迫感のある中で実践することができました。

訓練で得られた教訓を活かし、いざという時に力が発揮できるよう努めていきます。





## 栄養科便り

管理栄養士 山下 みさ子

## 魚料理の定番メニュー

和風のごちそうメニュー

# ぶりの照り焼き

- |           |                |
|-----------|----------------|
| ●ぶりの照り焼き  | 栄養価(常食2)       |
| ●豆腐チャンプルー | エネルギー 586 kcal |
| ●おろし大根    | たんぱく質 28.7 g   |
| ●もずくの清汁   | 脂質 19.0 g      |
|           | 炭水化物 71.0 g    |
|           | 塩分 3.9 g       |

- 脂が一番のっている厳冬のぶりには、DHA・EPAが豊富
- ・悪玉コレステロール、中性脂肪の低下作用。
  - ・高血圧や動脈硬化の予防改善。
  - ・認知症の予防・改善。
  - ・アレルギー体質改善などなど。

\*血液をサラサラにする油  
 DHA・EPAは青背魚に豊富です。  
 ブリ・マグロ・サバ・サンマ  
 ウナギの蒲焼きなど



DHA・EPAの効果的なとり方としては刺身が一番ですが、魚の脂を外に逃がさないような食べ方、煮付けや照焼きも十分有効。また体内での酸化を防ぐためにβ-カロテンやビタミンE・Cを多く含むものと組み合わせるとより効果的です。

☆食生活が乱れ栄養バランスが崩れている人や、不規則な生活習慣をしている人は血液がドロドロになりがち！旬の時期の魚を積極的に食べましょう!!

## 『膝の手術を受けて』

原田 清美

長年痛みに悩まされていた膝で、橘病院の柏木先生の診察を受け、手術しないと痛みはなくなると言われ手術を決断したものの内心は不安で一杯でした。でも先生を信頼するしかないと覚悟して昨



年の八月十二日に手術を行いました。無事に手術が終わり間もなくリハビリが始まりました。リハビリになると自分の努力次第で回復も違ってくるといことでリハビリの先生に従いながら頑張ることにしました。一日も早く退院できるように頑張っ、リハビリも順調に進みいよいよ退院も決まりました。自宅に帰ってきてからも近くの学校の校庭を歩いたり、プール歩行に行ったりしました。

おかげさまで今は膝の痛みはなく手術して本当によかったと柏木先生やリハビリの先生に感謝しています。



## 人工股関節置換術（THA）における直接・間接介助の研修に参加して

手術室 看護師 池島 あゆみ

平成22年11月27日に沖縄県那覇市で開催された、人工股関節置換術における直接介助、間接介助についての研修に参加させていただきました。

全国各地から約30名ほどの手術室看護師が参加し、丸の内病院の医師が講師として招かれ、人工関節置換術の基礎、歴史、解剖、臨床など講義を受けました。更に、実際に手術で使う器械で、模擬骨を使用し医師が行う手術手技を体験する事が出来ました。その中で他の病院の方と意見交換を行ない、施設により色々と異なることもあり、当院でも良いところは取り入れ、よりよい環境のもと手術が円滑に進むよう、そして患者さんの不安を少しでも取り除けるよう努めていきたいと思



## 『股関節の手術を受けて』

押川 義子

股関節の手術を受けて四月で丸一年になります。手術前のあの痛みはどんなにつらかったことか今思うとぞお～とします。柏木先生又、ナースのみなさんのおかげで今は痛みもなく、杖もいらず犬を



連れて散歩もできるし少しずつですが、畑仕事もでき野菜作りや花植え、草取りなど毎日充実した日々を送っております。四月からは、グランドゴルフ、ボール、民謡会などと忙しくなる予定です。

又、私と同じ手術を受けた者同士四、五名(病室は違います)集って食事会をして一人一人の体の具合、調子など話し合っております。リハビリの先生方にも大変お世話になりました。ありがとうございました。今はなつかしい思い出となり一生忘れることはできません。

以上、私の身近なことをお知らせ致します。

近況：平成23年3月に民謡会の発表会で踊る予定で現在練習を頑張っています。

## 人工股関節のエキスパートナーズとなる為に・・・

手術室 看護師 去川 望水

外来と手術室看護師として勤務している去川です。

11月6日に東京で開催された人工股関節置換術の研修会に参加させていただきました。

研修内容は「股関節の解剖や治療法・人工股関節置換術について」で、当院の人工関節置換術の昨年度症例は股関節置換術が73件、膝関節置換術が145件です。この研修に参加したことで手術室看護師に求められていること(医師・看護師の立場からみて)を理解することが出来ました。手術が円滑に進行するように器械出し看護師は、求められていることに対して瞬時に判断し、求められている速さで対応する事、外回りの看護師は患者様の代弁者となって、器械出しのサポートなど行うことが大事だと実感しました。

今後は自分達で出来ることから、取り組んでいき手術室のレベル向上に努めていきたいと思

# 2010年U-14日本代表日韓親善試合帯同報告

整形外科 小島 岳史

このたび、9月7日～12日までの6日間、日本サッカー協会スポーツ医学委員会からの依頼で、U-14の日本代表(正確には候補)の韓国遠征にドクターとして帯同しましたので、御報告させていただきます。

帯同ドクターは、外傷・障害の治療だけでなく、選手のコンディショニングにも大きく関わっていかねばなりません。従ってチーム全体の大きな目標に対する遠征の位置づけも把握しておく必要があります。また、選手だけでなく監督をはじめとするスタッフの健康管理にも気を配る必要があります。試合中は戦況を見つめていなければいけません。怪我をしたときに受傷状況をよく観察し、グラウンド内では即座に怪我の程度を判断できるようにしなければいけません。①診察②プレー続行の可否判断③ベンチへの報告④必要な処置を行い、⑤速やかにピッチへ選手を戻すことが重要となります。

今回の韓国遠征は、将来のA代表を目指す14歳(中学校2～3年生)20人+スタッフ5人の総勢25人で行いました。監督は、常に自分で考えて行動しろと選手に伝えていました。それはサッカー以外での私生活についても同じだということです。自分で物事を考えられなければ、ピッチの中では使えないから、そんな選手は要らないとのこと。厳しい言い方かもしれませんが、実際この20人の中で本当にA代表になれる選手は2～3人くらいです。その厳しい競争の中で出てくる外傷・障害に対して、帯同ドクターは的確な診断・治療・ゲームに出られるかどうかを判断しなければいけません。特に試合中は外傷が発生してから、1分以内には的確な診断をしなければいけません(1人選手が少なくなる時間を最小限にしなければならない)。そこではもちろん、レントゲン・CT・MRI検査などは一切できません。自分の診察技術がすべてです。私はこのフィールドでの診療は、病院内での診察よりは格段に難しいと認識しています。そこでは、よく医者が言う「来週また痛かったら来てね」のセリフは通用しません。そのため、私も帯同経験を積み重ねトレーニングをしている最中です。この現場での経験は日常の診療にも多いに役に立っていると思っています。

さらに9月26日から宮崎県少年男子(U-16)の千葉国体にドクター兼ゴールキーパーコーチとして帯同してきました。外来・入院の患者さんには多大なご迷惑をおかけいたしております。「がんばって来てね」という温かい御言葉をかけていただいた患者さんもいらっしゃいました。申し訳ございません。これが私が高校生から追いかけていた夢の職業でもあります。どうぞご容赦くださいませ。

最後になりましたが、こころよくこの仕事に送り出していただいた柏木院長、外来・入院業務のサポートしていただいた矢野理事長、花堂先生、病院スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。



未来のSAMURAI BLUE?



練習前のテーピング



試合中の怪我への対応



選手の飲水管理も

# 薬剤科だより

## 薬剤科 長 貴子

薬剤科は去年6月より新任の薬剤師(山元真友子)が加わり現在3名で活動しています。薬剤師が増えた事で患者様への服薬指導や医薬品の安全使用に関する様々な業務により一層取り組んでいきたいと思っております。

さて、今回はお世話になっている方も多いと思われる胃薬について説明します。

胃薬といっても服用する目的や作用(薬の効き目やどの様にして効くのか)によりいろいろな種類があります。また病院で処方される薬と薬局や薬店(ドラッグストアなど)で購入できる薬(市販薬)とがあります。

ドラッグストアなどで購入する場合には胃の痛み、食欲がない、もたれる、吐き気などの症状にあわせてお薬を選ぶのですが中にはなんにでも効くという万能(?)胃薬を買う方もいるのではないのでしょうか。

市販の胃薬の分類と主な効能は次のとおりです。

分類	効能、症状	よく見かける商品
制酸薬	胃酸過多、胸やけ、胃部不快感、胃部膨満感、胃もたれ、胸のつかえ	イノセア胃腸内服液、サクロン、ガスター10
健胃薬	食欲不振、胃部、腹部膨満感、消化不良、胃弱、食べ過ぎ、飲み過ぎ	液キャベコーワ、ソルマック健胃薬、タケダ漢方胃腸薬A、パンシロン胃腸内服液
消化薬	消化不良、食欲不振、食べ過ぎ、胃もたれ	わかもと消化薬、新タカチア錠



制酸薬には胃酸を中和するものや胃酸の分泌を抑えるもの、荒れた胃の粘膜を修復したり胃の粘膜を保護するものがあります。

健胃薬には胃の働きや動きをよくするもの、生薬(漢方薬)があります。消化薬は消化酵素や利胆薬があります。

これらの成分が組み合わされている製品が多いです。またガスター10など医療用の成分が市販薬として販売されているものもあります。

市販薬には生薬や消化剤、制酸剤など複数の成分と一緒に配合されているものも多く見かけます。目的に応じて薬剤師に相談して下さい。

市販の薬を服用しても症状が改善しない場合や良くなっても症状が繰り返す場合などは深刻な病気の可能性も考えられるので(胃潰瘍や逆流性食道炎など)一度医療機関を受診することをお勧めします。

### 標語 / 平成22年

7月

確認が大切 みんなで防ごう アクシデント

8月

見直そう まだまだあるはず 無駄な作業 無駄な時間

9月

一瞬の 気の緩みが 事故の元

10月

思い込み 慣れが招く 医療事故

11月

大丈夫かな? と思ったら必ず再確認!

12月

気をつけよう 必ず周りの 安全を

### 橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。

患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

●皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員がお答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。

(メールアドレス [info@tachibana-hospital.jp](mailto:info@tachibana-hospital.jp))

#### 広報委員

新留 ひとみ・今村 仙子・山口 博文・能見 恭子・矢野 多寿子・長 貴子・山田 美都子・山下 みさ子・塩崎 静香・増田 真樹